

~~~~~

**会 告**

~~~~~

第 88 回講演大会見学会・懇親会開催のお知らせ

本会は第 88 回（秋季）講演大会を昭和 49 年 11 月 3 日（日）、4 日（月）、5 日（火）の 3 日間近畿大学で開催いたしますが、これを機会に 11 月 3 日懇親会、4 日婦人見学会、6 日（水）工場見学会を下記により開催いたしますので奮つてご参加下さいますようご案内いたします。（ジュニアパーティについては追つてご案内いたします）

記

1. 見学会
 - 期 日 1 班～4 班 昭和 49 年 11 月 6 日（水）
婦人コース “ 11 月 4 日（月）
 - 申込締切 昭和 49 年 9 月 30 日（月）
2. 懇親会
 - 期 日 昭和 49 年 11 月 3 日（日）17:30～19:30
 - 申込締切 “ 10 月 21 日（月）
3. 申込方法 下記「見学会参加申込み上の注意」をご覧のうえ、別添申込用紙（1 人 1 枚）に必要事項を記入し、会費（現金書留）を添えお申し込み下さい。会費の添付されないお申し込みは受け付けいたしません。なお銀行振込みならびに振替による申し込みはご遠慮下さい。
4. 申 込 先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
日本鉄鋼協会見学会係 TEL 03-279-6021（代）

~~~~~

### 見学会参加申し込み上の注意

1. 見学会申し込みは本会会員に限ります。代理人の見学はお断わりいたします。
2. 申し込みは 1 人 1 班とします。申し込み多数の場合は抽選により決定いたしますので、申し込みの際には第 3 希望まで順位をご記入下さい。
3. 見学希望数が定員に達しない場合および見学先の突然の事情によりその班の見学中止あるいは行程を変更することがありますので、あらかじめご承知おき下さい。
4. 見学会が中止となった場合は、大会終了後 2 週間以内に会費を返金いたします。ただし、お申し込みの取消しは 9 月 30 日 16 時着信までとし、以後は取消しの申し出があつても返金いたしません。
5. 各班とも工場内での写真撮影は禁止いたします。また見学班表中 \* 印は見学内容の項目別に同業者の見学をお断りいたします。
6. 見学費の領収書は見学班が決定後、見学券といつしよに送付いたします。

~~~~~

懇親会の申し込みについて

講演大会に際し全国各地からお集りになる会員各位の親睦の場として、下記のごとく懇親会を開催いたします。会費などについても、より多くの方々にお気軽にご参加いただけるようにいたしました。

また、この機会に会員各位ご夫人同伴でご参加いただき、より明るい雰囲気での催しとしたいと思っておりますので、多数ご参加下さるようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 昭和 49 年 11 月 3 日（日）17:30～19:30
2. 会 場 近畿大学学生食堂
3. 会 費 1500 円（同伴夫人はご招待いたします）
4. 申込締切日 昭和 49 年 10 月 21 日（月）
5. 申込方法 別添申込書に必要事項ご記入のうえ、会費（現金書留）を添えお申し込み下さい。
なお見学会にも参加希望される方はなるべく見学会の申込時に一括お申し込み下さい。
銀行振込ならびに振替による申し込みはご遠慮下さい。
6. 申 込 先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
日本鉄鋼協会 懇親会係 電話 東京 03-279-6021

第 88 回 (秋季) 講演大会見学班表

工場見学 11月6日(水)・婦人コース 11月4日(月)
 申込締切 9月30日(月)

班 別	見 学 地 域	見 学 場 所	所 在 地	見 学 内 容 (予 定)	見学時間	集 合 場 所, 時 刻 解 散 場 所, 時 刻	備 考
1	加古川	(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所 鶴林寺城 姫路城 (自由見学)	加古川市 金沢町1	港湾, 原料処理 高炉, 製鋼, 熱 延の各工場 参詣・見物	10:30~ 12:30	集合: 国鉄東加古 川駅前出発 10:00 解散: 姫路城前 約15:00	国鉄大阪駅より快 速電車 大阪発 東加古川着 8:28 → 9:45 8:46 → 9:57
2	伊丹宮 西	* 住友電気工業 (株)伊丹製作所	伊丹市昆陽 字宮東1	(1)ピアノ線・ PC鋼線 (2)超硬合金工具 (3)焼結機械部品 (4)ディスクプレ ーキ	10:00~ 12:00	集合: 国鉄大阪駅 近くのホテル 阪神の駐 車場 (国鉄経営) 出発 9:00	時間の関係でポー トタワーの観光を 省く場合があります。 昼食場所: 川崎製鉄
		川崎製鉄(株) 西宮工場 神戸市内観光	西宮市朝風 町1-50 国鉄西宮駅 下車, 北口 阪急バス 朝風町行終 点	冷間圧延ステン レス鉄板(鋼帯) の製鋼, 冷延, 仕上げの各工程 摩耶阜頭, ポー トタワー, 湊川 神社, 諏訪山金 星台	12:30~ 14:30 15:00~ 16:30	解散: 国鉄三ノ宮 駅 16:30 国鉄新神戸 駅 16:45	
3	堺	新日本製鉄(株) 堺製鉄所	堺市築港八 幡町1	港湾, 高炉分塊 熱延, 大形の各 工場	10:00~ 12:00	集合: 南海本線 堺駅前 出発 9:30 解散: 難波駅前 16:30	時間の関係で住吉 大社の観光を省く 場合があります。 昼食場所: 新日本製鉄
		日本伸銅(株) 南宗寺, 南港大 橋, 住吉大社	堺市南島町 3丁1 (南海本線 七道駅下 車)	黄銅, 特殊銅合 金(棒線, 管, 溶接棒)の製造 工程 参詣, 見物	13:00~ 14:15		
4	和歌山	住友金属工業(株) 和歌山製鉄所 紀三井寺 新和歌浦 雑賀崎 和歌山城	和歌山市湊 1850	港湾, 高炉, 製 鋼, 熱延, 製管 の各工場 参詣・見物 車中より観光 天主閣及び展望	10:30~ 12:30 13:30~ 14:30 15:10~ 15:50	集合: 南海本線 和歌山市駅 駅前広場 出発 10:10 解散: 南海本線 和歌山市駅 16:00	南海本線難波駅発 急行 8:38 または 9:00 に乗車のこ と
婦 人 コース 11月 4日 (月)	奈 良	薬師寺・唐招提 寺・赤膚焼 窯元 秋篠寺 (平城京跡)	奈良西ノ京	観 光		集合: 国鉄大阪駅 近くのホテル 阪神の駐 車場 出発 9:30 解散: 国鉄大阪駅 16:30	平城京跡は車中よ り観光

- (注) 1. *印の見学先は, 見学内容の項目別に同業者の見学をお断りします。
 2. 各班とも工場内の写真撮影を禁止します。
 3. 1~4班とも参加費 2,000 円 (但しバス代, 昼食費, 入場料を含みます)
 4. 婦人コース参加費 3,000 円 (但しバス代, 昼食費, 入場料などを含みます)
 5. 定員は各班とも 50 名
 6. 午後の工場のみ参加希望者は, 時刻に間に合うよう当該工場にお集り下さい。
 ただし参加費は全額いただきます。

第88回講演大会「見学会」参加申込書

申込締切日 1班～4班 } 昭和49年9月30日(月)
 婦人コース

送付方法 申込書添付のうえ、現金書留にてお払込み下さい。

送付先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階

日本鉄鋼協会 見学会係

会員資格	名譽	賛助	正	学生	該当を○で囲んで下さい。
ふりがな 氏 名					
勤務先および 職 名					
勤務先所在地					(郵便番号)
領収書送付先					(郵便番号)
通信先(勤務 先と違う場合)					(郵便番号)
第1希望 第2希望 第3希望 (婦人コース)			班 班 班	送金額 円	

.....切.....取.....線.....

第88回講演大会「懇親会」参加申込書

申込締切日 昭和49年10月21日(月)

送付方法 申込書添付のうえ現金書留にてお払込み下さい。

送付先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階

日本鉄鋼協会 懇親会係

会員資格	賛助	正	学生	該当を○で囲んで下さい。
ふりがな 氏 名				
勤務先および 職 名				
勤務先所在地				(郵便番号)
領収書送付先				(郵便番号)
通信先(勤務 先と違う場合)				(郵便番号)
ご夫人名			送金額 円 1500	

第 88 回 (秋季) 講演大会 討論会 コメント ならびに 質問 募集 案内

本会は、第 88 回講演大会を昭和 49 年 11 月 3 日～5 日近畿大学で開催いたしますが、そのさい開催される討論会が下記の通り催されます。本討論会の講演概要は本誌刊末に掲載いたしておりますので、内容ご覧のうえ講演に対するコメントならびに質問を募集いたしますので、ご投稿下さるようご案内いたします。

1. 投稿 締 切 日 昭和 49 年 10 月 7 日 (月)

2. コメント, 質問原稿 任意の用紙にご執筆のうえ提出願います。

3. 送 付 先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 F 日本鉄鋼協会編集課
なお本討論会講演会概要は本誌のみに掲載され、講演概要集には掲載されません。

I 炉底侵食の機構と対策 座長 鈴木 駿一

討-1 高炉炉底壁の局部侵食状況について 住金中技研 ○鈴木 隆夫, 材野二三朗, 田村 洋一

討-2 高炉炉底使用後カーボンブロックの性状調査 新日鉄八幡 ○平櫛敬資, 樋渡 幸夫, 青山和輝

討-3 高炉の炉底侵食に関する一考察 川鉄 ○平谷 達雄

川鉄千葉 西山 哲司, 市原 勲

討-4 大型高炉の炉底損傷機構とその対策 鋼管技研 島田信郎, ○小山保二郎, 西 正明, 小林 基伸

II 連铸鑄片の品質と内部性状 座長 郡司 好喜

〔注〕: 本テーマは原則として自由討論により行なわれますが、あらかじめコメントならびに質問を寄せられても結構です。〕

討-5 連铸鑄片の内部品質について 新日鉄広畑 工博 浅野 鋼一, 広本 健, ○大橋 徹郎
工博 松永 久

討-6 連铸鑄片の中心偏析とその防止法

神鋼高砂 ○工博 鈴木 章, 神鋼中研 鈴木 武, 神鋼鉄事 野崎輝彦, 神鋼加古川 芝田義夫

討-7 連続铸造スラブの中央偏析発生機構とその対策

鋼管技研 ○工博 川和高穂, 鋼管福山 石黒守幸, 伊藤雅治

討-8 円弧型連铸機製広幅スラブ内の介在物と溶鋼流動

川鉄技研 ○垣生 泰弘, 北岡 英就, 吉井 裕, 江島 彬夫

川鉄千葉 関 明, 白石 昌司

討-9 連続铸造における内部割れの生成機構について

新日鉄名古屋 ○井上 俊郎, 小舞忠信, 斎藤豊一, 秋田 靖博

III 鉄鋼の変形能 座長 田中英八郎

討-10 変形能の巨視的一般論

阪大工 ○工博 加藤 健三

討-11 金属の延性破壊

京大工 ○正脇 謙次

討-12 冷間据込み鍛造の成形限界

新日鉄八幡技研 ○工博 中島 浩衛

新日鉄生産技研 南部 好機

討-13 鋼の変形能および延性破壊過程におよぼす組織の効果

神鋼中研 ○井上 毅, 工博 木下 修司

討-14 炭素鋼のオーステナイト領域における変形機構と延性との関係

電通大 ○酒井 拓, 大橋 正幸

院 武石 和夫

討-15 パーライトの変形能

東大工 工博 五弓 勇雄, ○工博 木原 諄二

(現神鋼) 前沢 明広

IV オーステナイト系ステンレス鋼の応力腐食割れの機構 座長 大谷南海男

討-16 ステンレス鋼の応力腐食割れと機構因子

東北大金研 ○理博 下平 三郎

討-17 ステンレス鋼の塑性変形とアノード活性

北大工 ○工博 柴田 俊夫, 小林 実

工博 竹山 太郎

討-18 $MgCl_2$ 試験液の諸性質とその腐食性

近大工 工博 木島 茂

討-19 オーステナイト系ステンレス鋼の応力腐食割れにおよぼす環境因子の影響

住金中研 理博 小若 正倫, ○工藤 赴夫

討-20 ポリチオン酸応力腐食割れの機構

鋼管技研 松島 巖

V 鉄鋼の靱性と転位論, その基礎と応用 座長 荒木 透, 橋口 隆

討-21 鉄鋼の照射脆化に関する転位現象論

東大工 井形 直弘

討-22 鋼の焼もどしによる Acoustic Emission 特性の変化

川鉄技研 ○工博 佐野 謙一, 工博 今中 拓一, 工博 船越 督己, 工博 藤元 克己

討-23 フェライト・パーライト鋼の組織制御による延性付与

新日鉄基礎研 ○今村 淳, 早川 浩, 理博 速水 哲博

第 28 回西山記念技術講座開催のお知らせ

—— テーマ：製鋼技術の現状と今後の展開 ——

主催 日本鉄鋼協会

第28回西山記念技術講座を下記により開催いたしますので、多数ご来聴下さるようご案内いたします。本講座は去る8月27日、28日開催の第27回講座と同内容のものであります。

I 第 28 回

- 1) 期日 昭和 49 年 9 月 9 日(月), 10 日(火)
- 2) 会場 新日本製鉄室蘭製鉄所本事務所 3 階講堂 (室蘭市仲町12)

II 演題ならびに講師

第 1 日	9:30~12:00	真空処理法の諸問題	新日本製鉄	恵 藤 文 二
	13:00~15:00	ESR プラズマなどの再溶解の進歩	日本特殊鋼	沢 繁 樹
	15:00~17:00	電気炉製鋼の最近の進歩	大同製鋼	牛 山 博 美
第 2 日	9:30~12:00	純酸素転炉の最近の進歩	日本鋼管	若 林 専 三
	13:00~15:00	連続鑄造の諸問題	川崎製鉄	古茂田 敬 一
	15:00~17:00	精錬用耐火物の諸問題	新日本製鉄	杉 田 清

III 講演内容

1. 真空処理法の諸問題 恵 藤 文 二

真空処理法のうち最近広く使用されている D-H, R-H, 取鍋脱ガス法に就ての現況, 問題点並びに高合金鋼特にステンレス製造の際, 転炉または電気炉の精錬機能の一部を代行して生産性, 品質, 生産コスト低減に使用されている真空精錬法について述べる. また各種脱ガス法, 真空精錬法の比較および今後の動向についても言及した.

2. ESR プラズマなどの再溶解の進歩 沢 繁 樹

電気エネルギーを利用した金属の再溶解造塊技術には, 真空アーク溶解法, エレクトロスラグ再溶解法, 電子ビーム再溶解法およびプラズマアーク再溶解法などがあるが, 航空機産業をはじめとするユーザーの金属材料特性に対する高い要求と, 需要に支えられて, 近年技術的にも生産規模も急速な発展を遂げてきた.

これらの再溶解法は各々目的をもつて開発されたものであつて, 製鋼技術への応用の見地から, 経済的, 技術的な検討をすると, それぞれの特徴を生かした用途別の適・不適がおのずと分れてくる. ここではエレクトロスラグ再溶解法を中心に, 今日の再溶解法の主流をなすプロセスの現状について解説する.

3. 電気製鋼の最近の進歩 牛 山 博 美

電気炉における Ultra High Power 操業および助燃法, AOD によるステンレス製鋼法, 取鍋精錬を主体とした炉外精錬法, 還元鉄およびその電気炉における利用など最近注目を浴びている新技術について解説する.

4. 純酸素転炉の最近の進歩 若 林 専 三

ここ数年の転炉技術の進歩は, 転炉技術そのものの進歩と, 転炉との組み合わせにより新しい特徴を生み出さんとする周辺技術の進歩とに大別される. 前者としては, (1)大型化高能率化の伸展, (2)環境管理技術の進歩, (3)自動化省力化の促進, (4)計算機制御の積極的導入, (5)炉体寿命の延長, などがあり, 転炉による年間1億トン出鋼の原動力となつている. 後者としては, (1)前工程の溶鉄脱硫技術の開発, (2)後工程の特殊精錬技術の進歩, などがあり, 高級鋼製造技術の発展に寄与している.

5. 連続鑄造の諸問題 古茂田 敬 一

連続鑄造製品の優位性, ならびに問題点について 特に機械構造との関連を述べ, かつこれらの問題点の対策について述べる.

6. 精錬用耐火物の諸問題 杉 田 清

製鋼プロセスを対象に, 精錬用耐火物にみられる最近の技術的傾向と諸問題について, 各種の特殊精錬法も含めて概説し, 精錬技術と耐火物技術の関連を解説する.

さらに, 精錬用耐火物に関する基本的技術事項, すなわちスラグ, 溶鋼, 脱硫剤と耐火物の相互反応, 減圧雰囲気中での耐火物の挙動などについて紹介する.

また, 今後の精錬用耐火物の諸課題について若干の展望を試みる.

IV 聴講無料 (事前の申込は必要ありません)

V テキスト 2500 円

VI 問合せ先 日本鉄鋼協会編集課 千代田区大手町 1-9-4 TEL 03-279-6021

日本学術会議会員候補者推薦について

来る 11 月 25 日 (投票締切) に行なわれる日本学術会議第 10 期会員選挙の会員候補者として本会は理事会の議を経て下記の方々を推薦することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

全国区第 5 部 (金属工学) 推薦候補者

住友金属工業株式会社専務取締役中央技術研究所長	池 島 俊 雄 君
新日本製鉄株式会社取締役八幡製鉄所副所長	加 藤 健 君
東京大学工学部教授	五 弓 勇 雄 君
東北大学工学部教授	小 林 卓 郎 君

地方区第 5 部推薦候補者

中国・四国地方区 広島大学工学部教授	丸 山 益 輝 君
--------------------	-----------

第 1 回エレクトロスラグ再溶解に関する シンポジウム開催のお知らせ

主催 鉄鋼共同基礎研究会 特殊精錬部会

第 1 回エレクトロスラグ再溶解の物理と化学、および現場操業上の諸問題に関するシンポジウムを下記のように開催致しますので、多数ご来聴下さいませようご案内致します。

記

1. 期日 昭和49年9月24日 (火) 9:30~17:00

2. 会場 愛知会館 2階 桜の間

名古屋市東区赤荻町 2 の 52

Tel. 052-936-5171

交通機関 国鉄または地下鉄 千種駅
下車徒歩

(注) 会場を変更致しましたので御了承下さい。

3. 演題ならびに講師

1) 直流再溶解時の電極先端での滴生成および酸素の挙動について

名古屋大学	小島 康
	井上道雄

名古屋工試 加藤 誠
名古屋大学 豊田剛治

2) ESR 処理中の水素の挙動について

日本鋼管	榎井 明
	笹島保敏
	山村 稔

3) ESR の鋼塊の形状と溶解特性の関係について

新日本製鉄	石川憲雄
	梶岡博幸
	副島 薫
	坂口庄一

4) CaF₂ を含む融体の性質

大阪大学	荻野和己
------	------

5) ESR の鋼塊の凝固条件について

神戸製鋼	鈴木 章
	三浦正淑

6) エレクトロスラグ溶接継手の溶接金属と ESR による鑄型鑄込金属との比較

名古屋大学	益本 功
新日本製鉄	小平一丸

4. 聴講 無料

5. テキスト 500 円 (当日会場で頒布致します)

6. 問合せ先 日本鉄鋼協会技術部 北浦正弘
東京都千代田区大手町 1-9-4
経団連会館 3階 Tel. 03-279-6021

東海支部講習会案内

「雰囲気熱処理の理論と実際」

本会東海支部では、日本金属学会東海支部と共催で下記により講習会を開催いたしますので、多数ご参加下さるようご案内いたします。

第 1 日 10月17日 (木) 9:30~16:30

(1) 9:30~11:30

雰囲気熱処理の物理化学(1)

名古屋大学教授 坂尾 弘

(2) 12:30~14:30

雰囲気熱処理の物理化学(2)

名古屋大学教授 坂尾 弘

(3) 14:30~16:30

ガス軟窒化の基礎

関西大学教授 高瀬 孝夫

第 2 日 10月18日 (金) 9:30~16:30

(1) 9:30~11:30

各種雰囲気熱処理の基本的考え方とその応用

トヨタ自動車工業(株)

第 5 技術部次長 橋本 亀太郎

(2) 12:30~14:30

イオン窒化

日本イオン(株)

常務取締役 深沢 正信

(3) 真空熱処理 (真空浸炭を含む)

大阪府立工業技術研究所

金属部熱処理課々長 山中 久彦

日 時 昭和49年10月17日 (木), 18日 (金) 9:30~16:30

場 所 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部

聴講料 会員 10,000円 非会員 15,000円

学生 3,000円

申込方法 所定の申込書（1人一葉，必要な方にはお送り申し上げます。）各欄に御記入のうえ，聴講料を添え（現金書留）下記宛お申込み下さい。到着次第聴講券をお送り申し上げます。

申込先 464 名古屋市千種区不老町
名古屋大学工学部 金属鉄鋼工学教室内
日本鉄鋼協会東海支部
(電話 (052) 781-5111 内線-3372)

申込締切 昭和49年9月30日(月)

北陸支部学術講演会（研究発表）講演募集

本会北陸支部は，日本金属学会北陸信越支部と共催で下記により学術講演会（研究発表）を開催することになりましたので，多数御申込み下さいます様御案内申し上げます。

期 日 昭和49年12月19日(木)，20日(金)
場 所 (株)不二越 (富山市)
応募要領 官製はがきに講演題目，氏名(出講者に○印)勤務先，通信先及びスライドの要，不要を御記入の上下記宛御申込み下さい。尚，講演申込者には，折返しレオフセット原稿用紙をお送りします。

申込締切日 昭和49年10月11日(金)
概要締切日 昭和49年12月2日(月)
申 込 先 (933) 富山県高岡市向野本町 300
日本曹達(株)高岡工場内
日本鉄鋼協会北陸支部
電話 0766 (23) 2001

☆ ☆ ☆

湯川記念講演会・懇親会・見学会

当日は湯川記念講演会ならびに懇親会を開催し，翌20日には見学会を行ないます。

参加御希望の方は氏名，勤務先，通信先を明記の上，会費を添えて下記宛御申込み下さい。

懇 親 会：会費 1,500 円
(会場 富山大学学生会館)
見 学 先：(株)不二越の他1社又は2社
会費 1,000 円

申込締切日：昭和49年12月10日(火)
申 込 先：(930) 富山市石金町20
(株)不二越技術本部
蜂須賀武治 電話 0764 (23) 5111

第 48 回塑性加工シンポジウム

「塑性加工における騒音・振動とその対策」

日時：昭和49年10月8日(火) 9:30~16:30
場所：大阪科学技術センター 401号室
(大阪市西区うつぼ 1-118 電話 06 (443) 5321)

内容：

1. 作業者に対する騒音の影響（とくに聴力におよぼす影響）について 京大工 辻本 剛夫
2. 防震合金について 阪大産研 杉本 孝一
3. 大形プレスの騒音・振動について 日立船 岡本 行朗
4. ショックレスダイセットについて 小 松 田 元一
5. 小形プレスによる板金打抜き騒音について 機械研 曾田長一郎，他
6. 鑄造機械の防振における空気バネの利用について 阪府立工技研 高崎 秀平

シンポジウムテキスト

御希望の方はお申し込み下さい。

代金：会員 (共催・協賛学協会を含む) 1冊 2,000円
会員外 1冊 4,000円

申込締切日：昭和49年9月21日(土)

申 込 方 法：ハガキ大の用紙に氏名，通信先，テキストの冊数，所属学協会員を明記し，代金（現金書留）を添えてお申し込み下さい。

申込先：社団法人 日本塑性加工学会
106 東京都港区六本木 5-2-5 トリカツビル内
電話 03-402-0849

共催：日本塑性加工学会，日本機械学会
協賛：日本鉄鋼協会，ほか

第 12 回高温強度シンポジウム

主催 日本材料学会，協賛 日本鉄鋼協会，ほか
期 日 昭和 49 年 10 月 8 日(火)，9 日(水)
会 場 京都大学楽反会館 (京都市左京区吉田近衛通
Tel. (075) -751-2111, 内線 7610)

参加費 1名 1,000円 (当日会場でも受付けます)
前刷集 1部 2,000円 (会場でも頒布します)
懇 親 会 10月8日(火) 午後 17:30~18:30 上記会場
内パーラー，会費：1名 2,000円 (当日会場
でも受付けます)

申込方法 付金を添えて下記宛御申込下さい。この場合とくに，送金内容を明記される様お願いいたします。

なお，前刷集については，9月30日(月)までにお申込の方には，郵送いたします。

申 込 先 〒606 京都市左京区吉田泉殿町1の101
日本材料学会シンポジウム係
Tel. 075-761-5321

プログラム (講演 20分・質問 5分)

第1日(10月8日)

第1テーマ：熱応力と熱疲労

〔熱応力〕

- 10:10 熱弾性偶応力問題の有限要素法による解析 井上 達雄, 他
- 10:35 偏平な溝穴をもつ板の熱応力集中問題 野田 直剛, 他
- 11:00 平行四辺形平板の熱座屈 松本 鏡一, 他
- 11:25 多軸応力下の熱応力ラチエット 猪狩 敏秀, 他

- 11:50 討 論
- 13:00 熱疲労共通試験結果報告

熱疲労共通試験小委員会

その1 熱疲労試験方法案の改訂, 温度, ひずみ分布, 測定方法

その2 熱疲労寿命と試験方法の関係

〔熱衝撃・熱疲労・変動条件下の低サイクル疲労〕

- 14:00 黒鉛の熱衝撃強度に関する研究 佐藤千之助, 他
- 14:25 熱疲れ試験に高周波加熱を用いた場合の温度分布の検討 木村 征二, 他
- 14:50 低サイクル疲労のき裂伝ば挙動に及ぼす温度および温度変動の影響 丸山 四郎, 他
- 15:15 温度およびひずみ範囲変動下の疲労寿命推定の試み 早瀬 洋三, 他

- 15:40 討 論
- 〔高温疲労〕

- 16:10 応力保持を有する場合の高温低サイクル疲労寿命推定法の検討 佐近 淑郎, 他
- 16:35 オーステナイトステンレス鋼の高温低サイクル疲れき裂の様相 山口 弘二, 他
- 17:00 高温疲労強度に関する一実験 堀川 武, 他
- 17:25 討 論

第2日 (10月9日)

第2テーマ: 高温用材料の組織と強度

〔クリープ破壊〕

- 10:00 12Cr 鋼の切欠クリープ破断強度と組織 鈴木 房幸, 他
- 10:25 オーステナイト耐熱鋼のクリープ破断強度への硬度と粒界形状の影響 山本 優, 他
- 10:50 クリープき裂の伝ばに関する実験結果 大谷 隆一, 他
- 11:15 高温における耐熱合金鋼管 (15-15N) の内圧によるクリープ破壊について 忽那 司章, 他
- 11:40 討 論
- 〔特殊条件下のクリープ〕
- 13:00 Ni 基超合金の高温クリープ破断特性に及ぼすふん囲気の影響 阿部征三郎, 他
- 13:25 高温ナトリウム中における高速炉用燃料被覆管のクリープ特性 柚原 俊一, 他
- 13:50 電縫鋼管の内圧クリープ破断特性 能方 寛, 他
- 14:15 Cr Mo V 鋼の応力および温度変動条件下のクリープ特性 志 賀正男, 他

- 14:40 討 論
- 〔材料の組織と強度〕
- 15:10 18-8Mo 鋼燃料被覆管のクリープ中における組織変化 藤原 優行, 他
- 15:35 1Cr-0.5Mo-0.25V 鋼の長時間応力リラクゼンション特性 田中 千秋
- 16:00 500°C で使用されたオーステナイト鋼とフェライト鋼の異材溶接継手の割れについて 大友 暁, 他
- 16:25 高速増殖炉蒸気発生器用 2¹/₄Cr-1Mo 系鋼 吉川 州彦, 他
- 16:50 討 論

第 49 回塑性加工シンポジウム開催

—高圧下における塑性加工—

1. 高圧加工容器の設計 神 鋼 山口 喜弘
2. 高静水圧下における摩擦と潤滑 神大工 小坂田宏三
3. 静水圧下における金属の変形挙動 金材技研 小口 醇
- 討 論 (11:30~12:00) 早大理工 松浦 佑次
4. 静水圧押し出しの動的挙動 神 鋼 松下 富春
5. 生産機における温間液圧押し出し 日立電線 角川 清夫
- 討 論 (14:20~14:40) 神大工 小坂田宏三
6. 組合せ材料の液圧押し出し特性 早大理工 高瀬 孔平
7. 高分子固体の静水圧押し出し 繊維高分子研 中山 和郎
- 討 論 (16:10~16:30) 神 鋼 西原 正夫

日時: 昭和49年11月12日 (火) 9:30~16:30 まで

場所: 横浜市開港記念会館

共催: 日本塑性加工学会, 日本機械学会

協賛: 日本鉄鋼協会, ほか

シンポジウムテキスト

御希望の方はお申し込み下さい。(今回は会誌「塑性と加工」の164号をテキストいたします)

代金: 会員 (共催・協賛の学協会員を含む)

1冊 1,100円 の予定

申込締切日: 昭和49年10月19日 (土)

申込方法: ハガキ大の用紙に氏名, 通信先, 出欠の有無, テキストの冊数, 所属学協会名を明記し, 代金 (現金書留) を添えてお申し込み下さい。

申込先: 社団法人 日本塑性加工学会

106 東京都港区六本木 5-2-5 トリカツビル内